

研究課題：女子大学生における摂食障害発症のリスク要因の解明とピア実施者による予防的介入

領域番号：23K12905

研究種目：若手研究

配分区分：基金

研究代表者：上田 紗津貴 京都文教大学, 臨床心理学部, 助教

(概要)

近年、若年女性を中心に摂食障害の有病率が増加しており、発症を未然に防ぐ予防的介入が急務とされている。しかし、日本では摂食障害に対する予防的介入の研究知見が少なく、必要な支援が対象者に十分には届いていない。その理由として、①摂食障害の発症に至るリスク要因の未解明、②予防的介入の実施者の不足、という2つの課題がある。本研究では、日本の女子大学生を対象として、摂食障害発症のリスク要因の解明と、ピア実施者（同世代の女子大学生）による予防的介入の実施可能性と有効性の検討を行う。これにより、摂食障害の発症リスクの高い対象者の早期発見と早期予防を実現することが可能となる。将来的には、数多くのピア実施者を育成して、摂食障害の予防的介入の社会実装を進め、摂食障害の発症予防や精神疾患に対する予防的介入の普及に貢献するという波及効果が期待できる。